

蛭が岳トレッキング



2月7日 曇り

記 エミ

黍殻山登山口駐車場 5:45⇒7:27 青根分岐 7:30⇒8:25 姫次 8:29⇒9:00
地蔵平 9:00⇒9:57 蛭が岳・蛭が岳山荘 10:43⇒11:22 地蔵平 11:22⇒
11:56 姫次 12:03⇒13:25 八丁坂ルート入口 13:26⇒13:44 黍殻山登山
口駐車場

メンバー奥田・エミ

(行動6時間50分・休憩1時間)

黍柄登山口駐車場には5時半に集合した。支度を整え真っ暗な中
キャップライトをつけ林道を歩き始める。次第に空が明るくなり林
道から右手の尾根の登山道へととりつく、このあたりでは雪や凍結

はまだなく、青根分岐を右に折れ稜線に出たところから次第に雪があらわれた。念のため私は軽アイゼン、奥田さんはチェーンスパイクを装着した。姫次からしばらくは下りになる。ほっとしてられない、下った分だけ帰りは上ることになる、登り返しはいつでも辛い。地藏平からしばらく行くと長い階段が現れた。軽アイゼンの刃は中央についているので、丹沢に多い木道や階段では安定が悪く歩きづらい、チェーンスパイクのほうが安定していて歩きやすそうだ。長い階段の先に蛭が岳山荘が現れ山頂に到着した。蛭が岳山荘ではゆっくりとコーヒーを頂き小屋番さん達と楽しく話をした。

帰りは青根分岐の手前で左へ折れ、モノレール軌道をくぐり八丁坂ルートを下ることにした。八丁坂ルートでは雪がなくなったので途中軽アイゼンを外そうとしたが、まだ凍結箇所があるかもしれないねと、念の為つけて下ったがこれが大正解で途中急斜面で凍結箇所が何度か現れた。登山道から林道へ出てからは割とすぐに駐車場へと到着した。